今、変わる！
流山市議会

流山市議会だより

第197号
令和8年11月15日

発行：流山市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
千葉県流山市平和台1−1−1　議会事務局内
電話04-7150-6099（直通）FAX 04-7150-2863
Email:gikai@city.nagareyama.chiba.jp

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の年4回発行です。　ホームページアドレス https://www.nagareyamagikai.jp/

令和7年度決算を認定

「幼児教育支援センター附属幼稚園」廃止の条例案を賛成少数で否決

（7・8面参照）



写真コンクール入賞作品　原口　孝和さん撮影の「コスモスと「なの花号」」（撮影場所：西平井）

撮影の背景　西平井・水鳥の池近くの畑にはいつもきれいな花が咲いています。育てられている方に感謝してコスモスと「なの花号」の写真を撮りました。

令和8年第3回定例会概要

9月3日の開会日には、市長から18件の議案が提出され、提案理由の説明が行われたほか、7件の報告がありました。そのうち「流山市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について」と「流山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」の2件の議案は、先議案として市民経済委員会に付託され、審査の後、委員長報告、質疑、討論、採決が行われました。

（要旨8面）

市政に関する一般質問は、9月8日から11日までの4日間にわたり23人の議員が登壇し行われました。

（要旨3〜6面）

9月11日の一般質問終了後には、議案16件および陳情7件が各常任委員会、議会運営委員会および決算審査特別委員会に付託されました。

（要旨2・7・8面）

10月6日の閉会日には、各委員会の委員長報告に対する質疑、議案などに対する討論、採決が行われました。また、市長から「流山市名誉市民の決定について」を含む4件の追加議案が提出され、提案理由説明の後、採決が行われました。その後、議員から11件の発議が提出され、提案理由説明、質疑、討論、採決が行われました。

（要旨6・8面）

クローズアップ

多角的な視点で、施策に厚みも〜市民経済委員会の取り組み〜

市民経済委員会では、防災・防犯、市民活動、環境・廃棄物、地域経済に加え、国民健康保険や後期高齢者医療制度など、市民生活に密着した分野を所管しています。

社会保障制度である二つの医療制度では、保険料改定に関し賛否両論の中、激しい議論を重ねています。その中で、市では国民健康保険料の収納率向上に向けた多言語（10言語）催告文の作成、保険料減免申請の電子化による適正な保険料の賦課など、市民の利便性向上に取り組むとともに、重複服薬の改善による医療費適正化や健康診査未受診者へのアプローチ改善を進めています。また、後期高齢者医療制度については、現役世代の負担上昇を抑えつつも、健康寿命を延伸する施策により、持続的な制度維持に取り組んでいます。

地域経済の活性化については、市と民間事業者とが共同出資する流山版DMOである「株式会社流山ツーリズムデザイン」（令和2年8月、官民連携により設立。観光地域づくりのかじ取り役などを担っている。）から、決算と今後の事業計画の報告を受けるとともに、毎年意見交換を行っています。その他、市で実施している企業動向調査の充実に向けたインボイスの実態把握の提案を行うほか、農業委員会との意見交換を通じた厳しさを増す農業経営への支援や二酸化炭素の排出抑制を図る環境施策について見識を深めることで、市民生活に密着した施策がより厚みのあるものとなるよう努めています。

今後も市の諸課題に適切に対応していくため、傾聴姿勢を大切にするとともに、委員会の持つ専門性を活かした審査を行ってまいります。

議員研修会を開催しました

流山市議会では、毎年専門家をお招きし、議員研修会を開催しています。これは、流山市議会基本条例第20条の規定に基づき、議員の政策形成・立案能力の向上を図るために実施しているものです。

今年度は、令和8年10月30日に議場において開催しました。事前にお申し込みいただいた市民の皆さまや市職員の方々にも傍聴いただき、ありがとうございました。

午前の部では、精神科医の和田秀樹氏に、「高齢者が元気でい続け、安心して老後を迎える社会とは」をテーマとして、医療・介護をはじめ、医療費や薬の多剤併用、こころの医療、栄養、健康長寿など、高齢者を取り巻くさまざまな課題と行政・政治の役割についてご講演いただきました。

午後の部では、東京都立大学名誉教授の荒井文昭氏に、「学ぶ権利のこれまでとこれから」をテーマとして、「学ぶ権利」の歴史を振り返り、人格の完成や民主的な社会の形成者を育む教育の意義、社会教育と学校教育の役割、これからの学びの在り方についてご講演いただきました。

どちらのご講演も充実した内容であり、有意義な研修会となりました。



和田講師



荒井講師